

令和4事業年度

決算報告書

自：令和 4年4月 1日

至：令和 5年3月31日

国立大学法人総合研究大学院大学

令和4年度 決算報告書

国立大学法人総合研究大学院大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,823	1,840	18	(注1)
施設整備費補助金	-	-	-	
補助金等収入	107	107	1	(注2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	7	7	-	
自己収入	203	182	△21	
授業料、入学科及び検定料収入	202	180	△21	(注3)
雑収入	1	2	1	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	44	39	△5	(注5)
引当金取崩	-	-	-	
長期借入金収入	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	128	157	29	(注6)
引当特定資産取崩	-	0	0	
出資金	-	-	-	
計	2,311	2,333	21	
支出				
業務費	2,154	1,984	△170	
教育研究経費	2,154	1,984	△170	(注7)
施設整備費	7	7	-	
補助金等	107	99	△8	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	44	41	△3	(注9)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	-	-	-	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
出資金	-	-	-	
計	2,311	2,131	△181	
収入－支出	-	202	202	

(注) 決算報告書の金額については、百万円未満の端数を四捨五入して表示しております。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった光熱費高騰に対応するための教育・研究基盤維持経費(3百万円)および授業料等免除枠(14百万円)の追加配分があったため、予算金額に比して決算額が18百万円多額となっております。
- (注2) 予算段階で見込んでいなかった静岡県「令和4年度大学生等学びの継続支援事業費補助金」(1百万円)が採択されたことなどの要因により、決算金額が1百万円多額となっております。
- (注3) 授業料、入学科及び検定料収入の差異については、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う授業料徴収等の特別措置による授業料収入の減少(△14百万円)、入学者数が予算段階の予定数を下回ったことによる入学科収入の減少(△4百万円)、出願者数が予算段階の予定数を下回ったことによる検定料収入の減少(△1百万円)により、予算金額に比して決算金額が△21百万円少額となっております。
- (注4) 雑収入については、予算段階の見込額を上回ったことにより、予算金額に比して決算金額が1百万円多額となっております。
- (注5) 予算段階で見込んでいたより受託研究等収入が1百万円多額だった一方で、寄附金収入が△0百万円、受託事業等収入が△5百万円、科学研究費補助金間接経費等収入が△1百万円少額であったため、予算金額に比して決算金額が△5百万円少額となっております。
- (注6) 目的積立金取崩については、予算金額に比して決算金額が29百万円多額となっております。
- (注7) 業務費については、経費の節減・効率化等に努めた結果の他、新型コロナウイルス感染症の影響による教育研究事業のオンライン化等により、予算金額に比して決算金額が△170百万円少額となっております。
- (注8) 予算段階で見込んでいたより令和3年度次世代研究者挑戦的研究プログラム助成金繰越分の執行が1百万円、令和4年度水産関係民間団体事業補助金の執行が3百万円、静岡県「令和4年度大学生等学びの継続支援事業費補助金」の執行が1百万円多額だった一方で、令和4年度科学技術人材育成費助成金の執行が△6百万円、令和4年度次世代研究者挑戦的研究プログラム助成金の執行が△3百万円少額だったこと等の要因により、決算金額が△5百万円少額となっております。
- (注9) (注5)の予算段階の見込より受託研究費が1百万円、共同研究費が1百万円、寄附金による支出が1百万円増加した一方、少額、受託事業費等による支出が△5百万円、科学研究費補助金間接経費等による支出が△0百万円少額であったため、予算金額に比して決算金額が△3百万円少額となっております。